

誠意ある回答を求める

データ本部・各分会は、三月一、二日の「第二回データグループ統一交渉日」に、データ社・グループ各社と交渉を行なった。本号ではデータ社との交渉もようを報告する。



データ社・データグループ各社と団体交渉

はじめに、組合側から、「データ本部における『九九・一八』という高率批准でのストライキ権確立を重く受け止め、誠意ある回答を求める」と述べ、データ社に見解を求めた。

働き方改革

組合：これまでの交渉をふまえ、適切な労働時間管理を会社責任で徹底することを大前提に、「仕事の見直しとセット」での労働時間縮減が必要と認識する。

会社：適切な労働時間管理は、法令順守の観点からも厳格な取り組みが必要だ。これまでグループ全体でEIT研修や階層研修等の取り組みを行ってきたが、引き続き、会社責任において徹底を図る。

組合：データ本部労使で今後の方向性は一致したと認識する。この考え方をふまえた職場労使における具体化に向けた取り組みを行なっていく。

要求事項に対する具体的検討状況

会社：年度末着地見込みは、当初計画どおり増収・増益を見込んでいるものの、一月当月が減益であったこと、今後も一過性の費用計上が見込まれる等、着地に向けてはさらなる精査が必要である。

組合：会社は「順調」に進捗していることについて労使の認識に懸隔はない。

最後に、組合側から、今年春闘における労使の社会的役割と責任、そしてすべての組合員・社員の努力と成果に依るメッセージを示せ」と通告し、交渉を中断した。データ本部ならびに各分会は、組合要求に対する前向きな会社見解を引き出すべく、交渉を徹底・強化する。

最後に、組合側から、今年春闘における労使の社会的役割と責任、そしてすべての組合員・社員の努力と成果に依るメッセージを示せ」と通告し、交渉を中断した。データ本部ならびに各分会は、組合要求に対する前向きな会社見解を引き出すべく、交渉を徹底・強化する。

「東日本大震災」から7年 NPO法人「ウィメンズアイ」の取り組み



「東日本大震災」から7年。震災直後から、三陸沿岸被災地で女性支援を行ってきたNPO法人「ウィメンズアイ」(当時、RQ被災地女性支援センター)。女性からの視点を大切にしながら、地域の復興に貢献してきたウィメンズアイの活動について、石本めぐみ代表に聞いた。 4～5面

職場の スゴイ人 Vol.14



大食い わんこそば 信越分会 穂元 瞬さん

穂元さんは今年2月11日、岩手県花巻市で開催された「第60回元祖！わんこそば全日本大会」の団体戦に参加し、全国5位の成績を収めました。なんと一人で180杯とチームに大きく貢献し、個人で敢闘賞を受賞。「水を飲むタイミングを間違えなければ200杯はいけた」と悔しがっていました。 推薦者：山口亨

データ本部

〒135-6021 江東区豊洲3-3-3 豊洲センタービル 21F
TEL 050-5546-8047 FAX 03-5546-8048
http://www.ntt-union-data.gr.jp



『働き方改革』



二〇一八春闘も連合の設定するヤマ場の直前。今回の論議の一つである「働き方改革」については、仕事の見直しとセットでの労働時間縮減につながる。業界の魅力度向上につながる。組合員・社員への明確なメッセージを発信する。

労働者目線の論議で 「安全」と「健康」の確保を！

信する———が必要と、労働者目線の認識を合わせた。具体的には、労使双方で知恵を出し合いながら進めていくとの前提である。会社として、労働者目線の認識を懸隔はない。

では、労働時間管理は会社責任で徹底する。生まれた時、健康確保、自己成長に向けた有効活用につながる。国会でもいろいろ議論がされなければならない。

豊洲RiverSide

三月に入り、卒業・卒園シーズンがやってきた。私の長男もこの三月で幼稚園を卒園する。入園式が、この間のこのように思われる。この三年間、長男の成長を見守っていたが、幼稚園で先生や友達と触れ合うことで、ものすごく成長したと実感している。子供の成長は早い。小学校に進んでも、自分の成長のため、多くの人とつながりを持つてもらいたいと強く願う。データ本部は、春闘交渉のピークを迎えている。会社の成長は、組合員・社員の皆さんの頑張りがあってこそ。その頑張りには報いるため、今次春闘を全力で走り抜け、私たちが会社のさらなる成長につなげたい。(ほつてい)

